

目的 どんないろんな鳥がどれくらい見ることができるか調べる

調査期間 2025年1月1日～12月31日

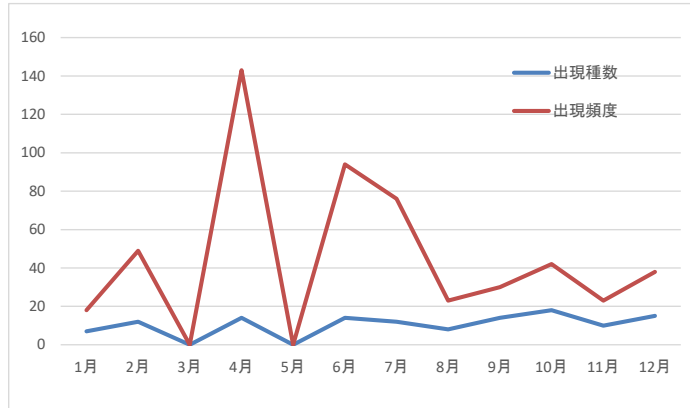
調査範囲 三和ゲートから入って南側、誘導灯手前までの作業用道路付近

調査方法 ①、ラインセンス 作業用道路を歩きながら一周し出現地、種名、数、行動等を調査
②、スポットセンス ①の継続で①の中に設定した定点5カ所に10分間とどまり出現地、種名、数、行動等を調査
調査回数は1～2回/月、調査時間は午前中を目標とした 所要時間は1回あたり2～3時間程度目安

調査結果

- ・2025年は前年より4の計37種確認 → 詳細下記リスト
- ・チュウヒ(絶滅危惧種猛禽類)、カケス、ヤマガラ、ミソサザイの4種を新たに確認
- ・4～7月にかけての種数、出現頻度の増加傾向は → 下記グラフ(例年通り)
- ・夏鳥の渡来、通過や留鳥の求愛、餌探などの繁殖行動で出現が目についた為と推測します
- ・8月の出現の減少は猛暑の影響と推測します
- その他情報
- ・冬を中心にフクロウが時々確認されています 餌となるネズミ類が多いと推測されます
- ・通年キツツキ類も目に付きます。マツノマダラカミキリの幼虫を沢山捕食してくれることを期待します
- ・3月、5月の記録なしは所用により調査できなかった為
- ・今回の調査結果は海岸林に生息する鳥全てを網羅するものではありません、調査時間に偶然居合わせた記録程度と理解下さい

月別出現種数・頻度 グラフ



月別出現種数・頻度

調査月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出現種数	7	12	-	14	-	14	12	8	14	18	10	15
出現頻度	18	49	-	143	-	94	76	23	30	42	23	38

2025年確認鳥類リスト

種名	タイプ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キジ	留鳥				●		●			●	●		●
キジバト	留鳥	●	●		●		●	●	●	●	●		●
カワウ	留鳥		●				●				●		
カッコウ	夏鳥						●						
コチドリ	夏鳥						●						
ミサゴ	留鳥							●			●	●	
トビ	留鳥	●	●				●	●		●	●		●
チュウヒ	冬鳥	●											
ノスリ	留鳥									●		●	●
フクロウ	留鳥												
チョウゲンボウ	留鳥								●				
サンショウクイ	夏鳥				●								
モズ	留鳥				●					●	●		
カケス	留鳥									●	●		
オナガ	留鳥								●				
ハシボソガラス	留鳥									●	●	●	●
ハシブソガラス	留鳥		●		●					●	●	●	●
ヤマガラ	留鳥									●			
ヒガラ	留鳥										●		
シジュウカラ	留鳥		●		●		●			●	●	●	●
ヒバリ	留鳥				●		●						
ツバメ	夏鳥				●			●		●			
ヒヨドリ	留鳥	●	●		●		●	●		●	●	●	●
ウグイス	留鳥		●		●		●	●	●	●	●	●	●
センダイムシクイ	夏鳥				●								
オオヨシキリ	夏鳥						●	●					
セッカ	夏鳥							●					
ミソサザイ	留鳥	●											
ムクドリ	留鳥								●	●			
ツグミ	冬鳥		●								●		●
ジョウビタキ	冬鳥												●
スズメ	留鳥				●		●	●	●				●
カワラヒワ	留鳥	●	●				●	●	●		●	●	●
ベニマシコ	冬鳥		●							●	●		
ホオジロ	留鳥	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●
カシラダカ	冬鳥										●		●
アオジ	留鳥		●		●		●	●					●

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37

2024年	種数	14	20	15	17	15	12	11	10	10	13	13	13
	出現頻度	33	47	67	114	84	75	64	21	36	82	38	25